

PRESS KIT
報道資料

Sustaina Couture

「サステナクチュール」

日本の美を保存・再生・融合する
新しい文化継承のかたち

Preserve・Regenerate・Integrate
Japanese Beauty

パリ展示会開催記念

『KIMONO METAMORPHOSIS』

2025年10月28日-30日

兵庫県パリ事務所

一般社団法人Sustaina Couture au JAPON
発行：2025年9月13日

目次

1. ブランド理念：「Preserve」・「Regenerate」・「Integrate」
2. 130年の歴史：老舗呉服屋から受け継ぐもの
3. 着物を超えた、文化継承の新しいモデル
4. 数百万点の眠れる美を救済する使命
5. 世界に響く、日本発の新しいサステナビリティ
6. 「布金継ぎ」(Nuno KINTSUGI)：布と金継ぎの融合が生み出す革新的美学
7. 60年の技術が生み出す、着物の新たな生命
8. 4人の女性メンバープロフィール
9. 名誉理事プロフィール
10. 新しい文化継承のモデルへの期待
11. 技術と芸術の融合：職人の手が生み出す奇跡
12. 代表者の想い：過去と未来を結び直すということ
13. パリ展示会「KIMONO METAMORPHOSIS」
14. 組織概要
15. 報道関係者様向け情報

1. ブランド理念：「Preserve」・「Regenerate」・「Integrate」

「サステナクチュール」の使命は、三つの概念で表現されます。

「Preserve」(保存)

着物の美しさと文化的価値を、その精神性と共に後世に伝える

「Regenerate」(再生)

眠っていた着物に新たな生命を吹き込み、現代の生活に輝きを取り戻す

「Integrate」(融合)

日本の美意識と西洋の技術を融合させ、文化を超えた新たな美を創造する

この三位一体の挑戦を通じて、日本の美意識と精神性を世界へと発信していきます。

2. 130年の歴史：老舗呉服屋から受け継ぐもの

明治時代、着物文化が絶頂期を迎えていた約130年前に創業した呉服屋があります。

「サステナクチュール」代表理事は、この老舗で生まれ育ち、
伝統と品格を肌で感じながら着物の知識を蓄積してきました。

130年の歳月は、日本の近代化と共に歩んだ着物文化の変遷そのものです。
代々受け継がれてきたのは、季節を感じ取る感性、色合わせの美学、素材への深い理解、
そして「着る人を美しく見せる」という信念です。これらの無形の財産が、
今「サステナクチュール」の革新的な取り組みの礎となっています。



19世紀の末に発行された呉服屋の広告

3. 着物を越えた、文化継承の新しいモデル

「サステナクチュール」の理念は、着物リメイクにとどまりません。神社仏閣などの歴史的建造物の修復、伝統工芸の現代的活用など、あらゆる分野の文化継承と結びついています。従来の文化保存は「変化させずに守る」ことに重点を置いていました。しかし、古いものを現代に活かしながら未来へとつなげていく「保存・再生・融合」の思想こそが、日本文化全体に求められる新しいアプローチなのです。



4. 数百万点の眠れる美を救済する使命

国内には現在、数百万点の着物が眠っています。かつて日本人の日常着だった着物も、現代では活用機会が限られ、多くが箆笥の奥で眠ったままです。「サステナクチュール」が目指すのは、こうした「眠れる美」を現代的に救済し、文化継承とサステナビリティを両立する新しいモデルを世界に提示することです。着物一点一点に込められた職人の技術と人々の想いを、現代の生活に溶け込む形で再生させることで、真の文化継承を実現します。



5. 世界に響く、日本発の新しいサステナビリティ

多くのサステナビリティの取り組みが「制限」や「我慢」を前提とする中、「サステナクチュール」が提案するのは「美しさ」を通じたサステナビリティです。

着物の再生には、日本独自の「もったいない」精神と、時間の経過とともに増していく美しさを見出す感性が込められています。「布金継ぎ」に象徴されるように、傷や損傷さえも新たな美の要素として活かす発想は、西洋的な完璧主義とは異なる価値観を提示する、日本発の新しいサステナビリティ思想なのです。



6. 「布金継ぎ」(Nuno KINTSUGI) 布と金継ぎの融合が生み出す革新的美学

「サステナクチュール」が世界に発信する最も革新的な概念が「布金継ぎ」(Nuno KINTSUGI)です。

1000年以上の歴史を持つ金継ぎを布に応用するという前例のない発想により、シミや汚れを美の源泉として活用する革新的アプローチが誕生しました。

従来の金継ぎが陶器の割れや欠けを金で修復するのに対し、「布金継ぎ」はシミや汚れのある布地を金彩で修復し、時の痕跡を美として昇華します。この融合により、廃棄されていた「欠点のある着物」が世界で唯一の芸術作品として生まれ変わります。

※本概念「布金継ぎ」(Nuno KINTSUGI)は現在、商標登録出願中です。



7. 60年の技術が生み出す、着物の新たな生命

「サステナクチュール」の母体は、
1966年創業のオートクチュール技術を継承する有限会社ブリジャンです。
ヨーロッパ仕込みの仕立て技術で全国の富裕層から信頼を得て、
10万着以上の制作実績を誇るオーダーメイド婦人服ブランドです。

60年間で培われた確かな技術力と美意識が、
着物再生という新たな挑戦の土台となっています。
着物が持つ本来の美しさを現代的な形で蘇らせる技術は、
長年の経験なくしては成し得ない芸術といえるでしょう。



1966年頃の本店（姫路市）



2025年の本店（姫路市）



4人の女性メンバーの運命的出会い

ファッション、オートクチュール、文化継承、伝統工芸。
それぞれの道で美を追求してきた多彩な4人の女性メンバーが出会い、
「サステナクチュール」が誕生しました。
異なる専門分野の知識と技術、美への深い洞察が融合することで、
着物再生という枠を超えた新たな創造が生まれています。

8. 4人の女性メンバープロフィール

代表理事 谷口泉

130年の歴史を持つ呉服屋の長女として生まれ、織物への深い審美眼を養う。
1981年にプレタポルテブランド「Brijean」を設立し、
ヨーロッパを中心に世界各地への布の買い付けを自ら行い、上質な素材を選び抜く。
「より『私らしさ』を輝かせ、時代を超えて愛せる一着を」という理念のもと、
直接顧客との対話を通じて「究極のエレガンス」を追求し、
セレブリティをはじめ多くのファンから厚い信頼を獲得。
人との出会いを大切にしながら新しい道を切り開き、
生家で育んだ着物のDNAを「サステナクチュール」のプレーンとして活かしている。

副代表理事 清水まゆ美

大学卒業後、欧米系大手企業にてアジア・日本支社の立ち上げやマーケティング、
広報、経営企画などを経験。
「サステナクチュール」では広報担当として、活動理念
「Preserve, Regenerate, Integrate Japanese Beauty — 日本の美を結ぶ、未来へ、世界へ」
を社会に発信している。
文化財の美観再生や伝統工芸の継承を国内外に橋渡しし、次世代への文化継承をリードするとともに、
国際的にも理念を発信し日本の美を世界へ示している。

理事 クリエイティブディレクター 北原利江子

呉服屋出身の母とオートクチュールサロンを営む父の元に生まれ、幼少期より洋服作りを志す。
フランス・パリに留学してファッションとオートクチュール刺繍を学び、
現地クチュールブランドでのインターンやパリコレクションのバックステージを経験して帰国。
クリエイターである祖母の元で洋服作りの実践を習得。
着用されなくなった着物をオートクチュール技術で再生させる「サステナクチュール」を考案し、
「36センチの奇跡」を起こす手から生み出される品格ある逸品は世界中から高い評価を得ている。

理事 龍一輝

「黄金の輝き」を復活させる美観再生技術を持つ、日本で唯一の女性職人。
現代の名匠のもとで研鑽を積み、仏像や荘厳な装飾、伝統工芸品など幅広い修復に携わっている。
確かな技と独自の感性を生かし、美術品や建築物の価値を次世代へつなぐ使命に取り組んでいる。
その象徴が「金継ぎ」の技と精神であり、
傷を抱えたものに新たな輝きを与えながら、日本の美を未来へと受け渡している。

9. 名誉理事プロフィール

名誉理事 谷口茂

有限会社ブリジャン 代表取締役 有限会社輝服装店 代表取締役

Sustaina Couture 名誉理事

1966年の創業以来、一貫して「美しい服づくり」の基盤を築いてきた
パターン制作者であり経営者。

独自に考案した原型は、時代やトレンドを超えて多様なデザインに対応し、
顧客から長年にわたり厚い信頼を集めている。

オーダーメイド婦人服の分野では10万着以上の制作を支え、
確かな技術力と審美眼により、数多くのオートクチュール作品を世に送り出してきた。
職人としての知見と経営者としての実績を兼ね備えた存在として、
「サステナクチュール」の創造活動を根幹から支えている。

10. 新しい文化継承のモデルへの期待

「サステナクチュール」が提案する着物再生は、

日本の文化継承における新しいモデルです。

従来の「変化させずに守る」文化保存に対し、

「変化させることで活かす」革新的アプローチを採用しています。

日本の美を、新たな領域へ

私たちのクリエイションは今、衣服という枠を超えて新たな領域へと広がっています。

着物から生まれたドレスは国境を越えて女性を輝かせ、

伝統技法の創作は現代ライフスタイルに新たな価値を提案しています。

この手法は着物に限らず、陶器、漆器、織物など、

様々な日本の伝統文化に応用できる可能性があります。

文化は生きているものであり、時代に合わせて変化することで、

その生命力を保ち続けることができるのです。



11. 技術と芸術の融合：職人の手が生み出す奇跡

「サステナクチュール」の作品制作は、
高度な技術と深い芸術的感性の融合によって実現されています。

60年にわたって蓄積されたオートクチュール技術が、
着物という特殊な素材を現代的な衣服に再構成する際にその真価を発揮します。

着物の構造を理解し、その美しさを最大限に活かしながら

現代人の体型や生活様式に合わせて再構成する。

この作業には、技術だけでなく着物の文化的背景への深い理解と
現代的美意識への洞察が必要です。職人の手によって一点一点丁寧に作られる作品は、
日本の「ものづくり」精神が現代に息づく証拠でもあります。





11. 技術と芸術の融合：職人の手が生み出す奇跡

「サステナクチュール」の作品制作は、
高度な技術と深い芸術的感性の融合によって実現されています。

60年にわたって蓄積されたオートクチュール技術が、
着物という特殊な素材を現代的な衣服に再構成する際にその真価を発揮します。

着物の構造を理解し、その美しさを最大限に活かしながら

現代人の体型や生活様式に合わせて再構成する。

この作業には、技術だけでなく着物の文化的背景への深い理解と
現代的美意識への洞察が必要です。職人の手によって一点一点丁寧に作られる作品は、
日本の「ものづくり」精神が現代に息づく証拠でもあります。





12. 代表者の想い：過去と未来を結び直すということ

一般社団法人Sustaina Couture au Japon代表の谷口泉氏は、「サステナクチュール」の使命について次のように語っています。

「眠っていた着物を再生することは、過去と未来を結び直すこと。その思いを、「Preserve」・「Regenerate」・「Integrate」を通じて、現代の美意識に合う形で未来へ、そして世界へとつなげていきます。」

この言葉には、単なるビジネスを超えた、文化継承への深い使命感が込められています。着物という日本文化の象徴的な存在を通じて、失われつつある日本の美意識を現代に蘇らせ、次世代へと確実に引き継いでいく。それが、「サステナクチュール」に課せられた使命なのです。



EXPOSITION INTERACTIVE • PARIS

28-30 OCTOBRE 2025

Bureau de la Préfecture de Hyogo à Paris

KIMONO METAMORPHOSIS

Exposition Interactive
& Ateliers Créatifs

PARTICIPEZ À :

- Atelier «Nuno KINTSUGI »
(Première mondiale)
- Atelier de Nouage Japonais

Pour plus d'informations,
scannez ici ! ➔



Du 28 au 30 octobre 2025
de 10h à 16h

Adresse : Bureau de Représentation du Département du Hyogo
10, rue de Louvois 75002 Paris

Sustaina Couture

13. パリ展示会「KIMONO METAMORPHOSIS」

以上のような理念と取り組みを背景に、2025年10月28日から30日まで、
パリ市内の兵庫県パリ事務所で展示会

「KIMONO METAMORPHOSIS」を開催いたします。

この4日間は、日本の美意識が新たな形で世界に発信される記念すべき瞬間となります。

パリで学んだ感性が紡ぐ、東西融合の美学

今回の展示会でクリエイティブディレクションを担うのは、デザイナーの北原利江子氏です。

ESMOD Paris（2005年卒）での学びに加え、オートクチュール刺繍の伝統を継承する名門
ルサージュ（École Lesage）でも研鑽を積み、

段階的な技術課題を修了してフランス伝統の刺繍技法を体得。

パリで培った感性を生かし、伝統と現代をつなぐ表現を手掛けています。

彼女の手によって、日本の着物は西洋的な美意識と融合し、新たな生命を得ます。

それは単なる文化の混合ではなく、両者の美学の本質を理解した上での、真の融合なのです。

パリという地で日本の美を発信することの意味は深いものがあります。

世界のファッションとアートを中心に、

日本の伝統美術がどのように受け入れられ、

どのような化学反応を起こすのか。

この展示会は、文化交流の新たな可能性を探る実験的な場でもあります。



国際的な評価と広がる関心

「サステナクチュール」の作品は、既にフランス、イタリア、アメリカ、インドなど
海外の知人たちから高い評価を得ており、実際の注文も寄せられています。

日本人コミュニティにおいても、その完成度の高さに感動した方々により口コミが広がり、
着物再生への新たな関心が生まれています。

こうした反響を受けて開催される今回のパリ展示会は、

より広い国際的な舞台での評価を確認する重要な機会となります。

パリから始まる、世界への挑戦

今回のパリ展示会「KIMONO METAMORPHOSIS」は、
「サステナクチュール」にとって世界への第一歩となります。
これから本格的に世界に向けて発信していく取り組みの出発点として、
この展示会が位置づけられています。
2026年春には国内凱旋展示会、秋にはニューヨーク展も視野に入れており、
オンラインショップの拡充も予定されています。
パリという世界的な文化都市から始まる発信は、
日本の美意識が世界にどのように受け入れられるかを確認する重要な機会となります。
着物の美しさは、日本人だけのものではありません。
その普遍的な美は、文化や国境を超えて人々の心に響く力を持っていると信じて、
この挑戦を始めます。

「布金継ぎ」のパリ初公開

今回のパリ展示会では、この革新的な概念をパリで初めて本格的に紹介します。
来場者は実際の「布金継ぎ」プロセスを目の前で見学し、
この新しい美学の誕生を体験することができます。
これは、日本発の文化的革新がヨーロッパでどのように受け入れられるかを示す、
重要な瞬間となるでしょう。



開催概要

展示会名：KIMONO METAMORPHOSIS - Preserve, Regenerate, Integrate Japanese Beauty

期間：2025年10月28日（火）～30日（木）

時間：10:00～16:00

場所：兵庫県パリ事務所（10 rue de Louvois, 75002 Paris France）

主催：一般社団法人Sustaina Couture au JAPON

協力：有限会社ブリジャン、株式会社姫宮実業、有限会社輝服装店、（兵庫県姫路市）

展示内容

着物から再生された洋服30点、小物25点を展示いたします。

加えて、日本の美学を体験できる「布金継ぎ」ワークショップと、
着物の解体から再生までのプロセスを紹介する技術解説セミナーを実施いたします。



特別プログラム

来場者は、日本の美学を体験できる特別なワークショップをご見学いただけます

「布金継ぎ」ワークショップ

金継ぎの精神をテキスタイル再生に応用した実演。

シミや汚れを美の要素として活かす革新的な技法を体験いただけます。

「願い結び」ワークショップ

日本の精神文化の核にある概念「結び=つなぐ・生む」の思想を体感する参加型体験。

日本古来の結びの文化を通じて、つながりと創造の意味を体感いただけます。



ご招待者限定イベント

日時：10月28日（火）16:00～19:30

対象：ご招待者限定（メディア関係者等）

16:00より約30分間、着物をその場で解体し、その構造と歴史を解説し、

再生のプロセスを紹介するライブパフォーマンス

「Metamorphosis of KIMONO」を実施いたします。

この特別な実演では、着物の文化的背景なども含め、

サステナブルの全貌をご覧いただけます。

パフォーマンス終了後は、19:30まで軽食を用意したオープングレセプションを開催し、

クリエイターや関係者との交流の機会をご提供いたします。

14. 組織概要

一般社団法人Sustaina Couture au JAPON

設立：2024年

理念：「日本の美を結ぶ。未来へ、世界へ。」

使命：着物の再生をはじめとする多様な活動を通じ、日本の美意識と文化を次世代へつなぐ

代表：谷口泉

所在地：兵庫県姫路市白銀町8番地

15. 報道関係者様向け情報

お問い合わせ先

一般社団法人Sustaina Couture au JAPON

住所：兵庫県姫路市白銀町8番地

電話：079-282-6232

メール：sustainacouture.au.japon@gmail.com

ウェブサイト：<http://sustaina-couture.com/>

取材対応

展示会期間中の取材・撮影対応可能

代表者・クリエイティブディレクターへのインタビュー調整可能

画像提供可能

今後の展開

2026年春に国内凱旋展示会、秋にはニューヨーク展も視野に入れております。

オンラインショップも拡充し、世界に向けた本格的な事業展開を予定しております。

このプレスキットは、「サステナクチュール」の理念と取り組みを
広く理解していただくために作成いたしました。
追加情報や詳細な取材のご希望がございましたら、
上記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

サステナクチュール - 日本の美を保存・再生・融合する、新しい文化継承のかたち

発行日：2025年9月13日

発行者：一般社団法人Sustaina Couture au JAPON

お問い合わせ：sustainacouture.au.japon@gmail.com

Sustaina Couture